

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

2023-2026年度中期経営計画にSDGs経営を柱として盛り込み、3つの重点戦略の中に地域共生戦略を設定。地域と連携しながら豊かで持続可能な地域社会の実現を目指します。

<今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	地球温暖化への対策～CO2削減の取組 環境汚染への対策～脱プラスチックの取組 資源不足への対策～食品ロス削減の取組	前年対比削減に向けた取組み 無償プラスチックの排出量 8,000 kg以下 生ごみ削減による処理量 36,000 kg/年	8,000 kg以下達成 (ペットボトル・アメニティ・カトラリー・ストロー) 生ごみ処理量処理量 29,500 kg(堆肥化・資源化したことによる削減効果による)
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	サーキュラーエコノミーの実現 経済縮小への対策～地産地消の取組 観光需要喚起の取組	パートナーシップ締結したサーキュラーパーク九州との連携した活動実施 年2回以上 地産地消フェア開催 年2回以上	朝マルシェ 2回開催 地域フェア 3回開催 仲秋の宴開催
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	少子高齢化への対策 ～働き方改革女性活躍推進人口減少への対策～ ダイバーシティ経営	男性の育児休暇取得 20日以上 女性管理職比率 15%以上	男性育児休暇取得日 平均 50日 女性管理職比率(係長以上) 32%

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

環境月間の開催や1歩踏み込む食品ロス削減の取組み(市民、企業、自治体を対象とした研修開催・循環型野菜の提供開始・未利用魚の活用)、サステナビリティ経営の推進に関する従業員研修プログラムの構築及び2日間の研修実施、放置竹林対策を取入れた環境配慮型イルミネーションの開催など、例年以上に積極的に地域と連携を図る活動ができた。全員参加にこだわり2019年にSDGs宣言をしてから6年、これまでの活動を評価いただき、日本ホテル協会社会的貢献に対する会長表彰にて最優秀賞を受賞することが出来ました。これからもひとつひとつの活動をしっかりと根付かせて、持続可能な地域社会と企業の実現を目指していきたいです。

・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組、及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	地球温暖化への対策～CO2削減の取組 環境汚染への対策～脱プラスチックの取組 資源不足への対策～食品ロス削減の取組	前年対比削減に向けた取組み 無償プラスチックの排出量 8,000 kg以下 生ごみ削減による処理量 36,000 kg/年
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	サーキュラーエコノミーの実現 経済縮小への対策～地産地消の取組 観光需要喚起の取組	パートナーシップ締結したサーキュラーパーク九州との連携した活動実施 年2回以上 地産地消フェア開催 年2回以上

